

板橋区制施行90周年記念事業の実施報告について

板橋区は、令和4年10月1日、区制施行90周年を迎え、区民とともに節目を祝うため、年間を通して様々な記念事業を実施した。実施にあたっては、コロナ禍の状況を踏まえ、華美にならないよう配慮し、既存事業を中心に工夫を凝らした。については、下記のとおり報告する。

記

1 検討・推進体制

板橋区制施行90周年記念事業実行委員会

会長：区長、会長代理：区議会議長

委員：副議長、区議会各会派幹事長、副区長、教育長、政策経営部長、総務部長、
区民文化部長、産業経済部長、区議会事務局長

開催：全3回（令和3年9月29日、令和4年2月21日、8月4日）

2 実施事業数（詳細は別紙参照）

- (1) 区実施事業 42事業
※中止事業1事業（花火大会）
- (2) 関連団体等の協力による事業 9事業

3 主な事業

(1) 区制施行90周年記念ロゴの作成

記念事業を盛り上げ、区民に広く周知するためロゴを作成し、活用した。

- 記念事業のポスターやチラシ、看板等への掲載
- 『広報いたばし』、区ホームページへの掲載
- 区職員の名刺への掲載
- 区施設への掲示



《ロゴ説明》

板橋に暮らす人々が板橋のまちを「キャンパス」にそれぞれの想いを「色」にのせてまるで絵本を創るように物語と未来を描き、そして誰もが「東京で一番住みたくなるまち」と実感できるよう願って「板橋未来パレット」と表現しています

(2) 区制施行90周年記念式典（10月1日、式典出席者816名）

板橋区吹奏楽団によるオープニングセレモニー、区政功績者への感謝状等贈呈式（感謝状受賞者796名・16団体）、名誉区民顕彰（植村直己氏 代受植村公子様）、板橋区観光大使・坂東弥十郎氏のお祝いビデオメッセージ、重要無形文化財保持者で区民栄誉賞受賞者の講談師・神田松鯉氏による講談、来場された方へ記念品を配付した。式典をライブ配信し、終了後に式典ダイジェスト版と90周年記念プロモーションビデオを配信した。



(3) 区制施行 90 周年記念誌等発行 (10 月 1 日)

区の歴史や今後のめざす姿、特色ある取組・地域資源等を紹介する冊子及びリーフレットを「絵本のまち」をイメージさせるデザインで作成した。記念式典の記念品として配付したほか、特別キャンペーンを実施した施設や記念展示等で活用した。

○発行部数 記念誌 5,000 部、リーフレット 15,000 部



(4) 区制施行 90 周年記念・10 年後へのメッセージ募集 (10 月 1 日～令和 5 年 3 月 5 日)

区役所 1 階プロモーションスペース、区民まつり、農業まつり、赤塚支所ギャラリー、区内商業施設等において、区民から 10 年後へのメッセージを募集する展示企画を実施した。これからも未来へつづくまちをみんなで一緒につくっていこうという願いを込めて、10 年後へ育つ木をイメージしたオブジェ「みらいの木」を各イベント会場に設置し、寄せられたメッセージを貼付して紹介した。

○メッセージ数 1,000 通程度



(5) 板橋区民まつり (10 月 15 日・16 日)

板橋第一中学校体育館を「絵本のまちひろば」とし、板橋区にゆかりのある絵本作家・企業・大学生の協力を得て、子どもから大人まで幅広い世代が「絵本のまち“板橋”」に親しみを感じ、楽しめる内容の展示・イベント等を実施した。

○展示・イベント等の主な内容

絵本のある暮らし空間展示、学生制作の展示、クリエイターズマーケット、AR フォトスポット、ポローニャ絵本館コーナー、印刷製本紹介展示、区制施行 90 周年記念展示



(6) 記念タイムカプセル封入・植樹式 (令和 5 年 3 月 22 日)

区制施行 90 周年記念事業の締めくくりとして、区民から募集した 10 年後へのメッセージカード等をタイムカプセルに封入するとともに、区制施行 100 周年に向かって育つ「みらいの木」(ケヤキ) を平和の像の前に植樹した。また、板橋第一小学校第 3 学年児童約 90 名と、区観光大使の杉浦太陽氏も参加し、未来へのメッセージを発表した。タイムカプセルは、区制施行 100 周年時に開封する。

